

学報



SEIREI CHRISTOPHER COLLEGE REPORT

2004.10.1
Vol.24

3453 Mikatahara-cho Hamamatsu-shi Shizuoka 433-8558 <http://www.seirei.ac.jp>

5月21日(金)、聖隷学園第二体育館において、「リハビリテーション学部・大学院社会福祉学研究科 開設記念式典」を行いました。開設記念礼拝はオルガンの演奏により厳かに開始。讃美歌、聖書朗読ののち、学長および理事長が新学部・研究科開設における抱負などをお話しました。

INDEX	PAGE		PAGE
キャンパス内禁煙宣言	1	海外研修・実習特集	5
連載 私の教育・研究	3	新入生の声	7
「看護の日」記念行事	4	クラブ・サークル紹介	8
新任教員の紹介	4	就職状況と就職支援の取り組み	9
シリーズ 聖書のことば	4	2004年度後援会予算	10



保健・医療・福祉の探究
聖隷クリストファー大学

発行所 聖隷クリストファー大学 看護学部/看護短期大学部/リハビリテーション学部/社会福祉学部 大学院 看護学研究科/社会福祉学研究科
〒433-8558 静岡県浜松市三方原町3453 TEL:053-439-1400 FAX:053-439-1406 <http://www.seirei.ac.jp>

10
24

2004.10.1
Vol.24

聖隷クリストファー大学 学報

学友会から

2004年度学友会の抱負

学友会会長 ● 看護学部2年
岡部 友美

学友会が発足して3年目、リハビリテーション学部が加わって新たなスタートを迎えました。今期の学友会の目標は2つあります。1つめは、昨年に続き「学部同士の横のつながりを深める」ことです。各学部カリキュラムが違いなかなか接する機会がないのが現状ですが、クリスマス祝会や聖灯祭など学校全体で行なわれる特別企画を盛大に行ない、また昨年開催できなかったスポーツ大会を開き、他学部と交流する機会を増やせたいと考えています。今年は学生センター棟の改修工事が終わり、学生が自由に、より快適に使える充実したスペースができました。そのスペースをクラブ・サークル活動や聖灯祭の準備、学生のくつろぎの場など有効に使って欲しいと思います。

2つめの目標は「お金の管理を徹底させる」ことです。学友会の会員が増え、学友会が運営するお金も一千万を超える額になりました。学友会全員がお金に対する意識をしっかりと持ち、管理していくこと、そしてクラブ・サークルの人たちにもお金に対する意識をしっかりとってもらい、通帳と出納帳の管理を徹底させたいと思います。

2つの目標を達成することで、みなさんの学生生活をよりよいものにすることができればいいなと思います。

CAMPUS LIFE

[キャンパスライフ]



2004年度入学式を、4月6日(火) 13:30よりアクティビティ浜松中ホールで行いました。本年度の新入生は、看護学部看護学科147名、看護学部編入学4名、リハビリテーション学部リハビリテーション学科85名(言語聴覚学専攻20名、作業療法学専攻32名、理学療法学専攻33名)、社会福祉学部社会福祉学科121名、社会福祉学部編入学7名、看護短期大学部専攻科助産学特別専攻17名、大学院看護学研究科4名、大学院社会福祉学研究科4名、計389名です。

学生数(9月14日現在/総数1,164名)		()内は男子内数	
看護学部	1年次生:147(5)、2年次生:101(5)、3年次生:124(8) _{※1} 、4年次生:119(3)	計:	491(21)
社会福祉学部	1年次生:120(55)、2年次生:96(37)、3年次生:102(35) _{※2} 、4年次生:9(4)	計:	327(131)
リハビリテーション学部	1年次生:85(38)	計:	85(38)
看護短期大学部	2年次生:108(2)、3年次生:112(6)、専攻科助産学特別専攻:17	計:	237(8)
大学院看護学研究科	1年次生:4(0)、2年次生:8(0)、長期在学/2002年度以前の入学生:8(1) ※1年次生2名、2年次生全員が長期(3年)在学コース	計:	20(1)
大学院社会福祉学研究科	1年次生:4(1) ※全員が長期(3年)在学コース	計:	4(1)

※1. 3年次在学者数には2004年度編入学4名、4年次在学者数には2003年度編入学4名を含む。
※2. 3年次在学者数には2004年度編入学7名を含む。

EVENT INFORMATION

2004年度福祉の日記念講演会

「ペテルの家の非援助論—専門家の知、当事者の知」

- ◆日時 2004年10月19日(火) 14:00~16:00
- ◆会場 聖隷クリストファー大学 1701.3602教室
- ◆募集 30名(参加費無料)
- ◆講師 北海道医療大学/浦河べてるの家 向谷地生良氏
浦河べてるの家 河崎 寛氏

2004年度公開講座

「現代社会とこころの健康—ストレス社会を生きる」

- ◆日時 2004年10月23日(土) 13:30~16:00
- ◆会場 聖隷クリストファー大学 1701教室
- ◆募集 200名(参加費無料)
- ◆講師 聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 教授 佐々木敏明
- ◆シンポジスト 聖隷クリストファー大学 看護短期大学部
助教授 加藤伊千夫 講師 小平朋江 助手 米澤美貴子

[問い合わせ先] 教務事務センター / Tel.053(439)1433 Fax.053(439)1430

読者アンケートのお願い

裏面の質問にご記入いただき、
ポストに投函してください。

POST CARD

433-8790

静岡県浜松市三方原町3453
聖隷クリストファー大学
総務部 総務課 行



フリガナ				
名前	住所	電話	E-mail	区分
		() -	@	<input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> その他

第三回 聖灯祭

11/6

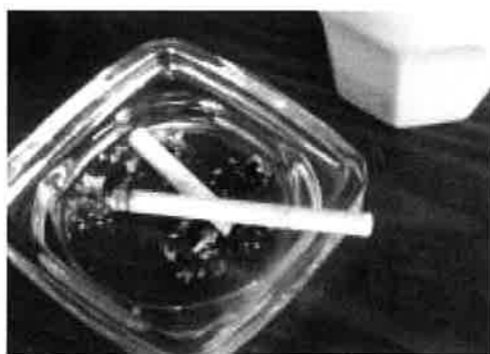
実行委員長
社会福祉学部2年
下田 大頌

今年で三回目を迎える聖灯祭は11月6日に開催します。今年のテーマは「quatrefoil」です。意味は「四つ葉」で、今年から増えたりハビリテーション学部を含め四つの学部で大学祭を作り上げるという意味でこのテーマにしました。大学祭の内容としては、毎年伝統になっている「健康祭り」はハビリテーション学部が入ることによってより一層内容が濃いものになります。また、お年寄りのばけに関する親しみやすくなおかつ勉強になるアニメのビデオ上映や、模擬店・縁日、来た人も参加できるような体育館での企画等も用意しております。皆さんぜひ楽しんで学んでください！心からお待ちしております。



※写真は2002年の聖灯祭。ナースキャップは看護職の象徴ですが、機能的でないこと、また清潔でないことなどの理由から、聖隷クリストファ一大学では、2003年4月より廃止致しました。

健康教育を実施しています。看護系学部では専門科目の中でも講義されています。
二、禁煙サポート
①学生サービセンタールームで、タバコの健康への影響や禁煙方法に関する情報提供
②大学禁煙化プロジェクトへの参加



全国の大学を禁煙化し、大学生を非喫煙者として社会に送るプロジェクトが昨年から動き始めました。これは奈良女子大学の大学禁煙化プロジェクト研究室(代表 高橋裕子先生)が一部に文部科学省の科学研究費補助金を受け「インターネット禁煙マラソン」の全面協力を得て全国の大学に提供するプロジェクトです。本学もこのプロジェクトに参加し、禁煙を希望する学生に、禁煙サポート支援(ニコチンパッチ無料提供を含む)と携帯メールサポート(禁煙カレンダーマラソン)を紹介しています。今年の夏休みにも四名の学生がこのコースを利用しました。思いのほか楽に禁煙できたようで、ニコチンパッチの効果を改めて確認したところです。禁煙できないのは意思が弱いからではなく、ニコチン依存(中毒)

私たちがこの世に誕生したというこの最も大きな意味はいのちを与えられたということです。このいのちは必ず死をもって完結します。死ぬのはいやだと思っても回

避できない、回限りのいのちを私たちは生きているのです。いま、たばこが悪者呼ばわりされるのはひとのうちに直接間接に影響し、健康を損ない、修復不可能な死にいたる病気をもたらすからです。がん患者の闘病記を「読んだ人はそこに「死を前にしていかに生きるか」を真剣に考え、まさに「死を考えることは、生を考えること」なんだと印象に残るメッセージに心を揺さぶられたことでしょう。

学生はどうなりますか。二十年、三十年経った時にこれらの結果が健康上の問題として表出します。いま二十歳のあなたが四十歳の自分をイメージできますか。四十歳の自分は健康でありたい。そういう風に考えられませんか。たばこはすわなない。生活があなたの健康を支え、いのちを守ります。

たばこの害

健康管理センター長
久保みさほ

保健医療の分野においても、各職能団体や学会からも禁煙宣言・タバコ対策が表明されています。WHOは一九九九年に喫煙を「有害な健康状態」を「妊婦」「青少年」「医療関係者」であると提言し、二〇〇三年五月に「たばこ規制枠組み

者として健康に携わる者が、たばこの健康に及ぼす悪影響が本人のみならず周囲に及ぼす受動喫煙を含め明らかになっていること。②実習病院である聖隷浜松病院、聖隷三方原病院が施設内禁煙になっていること。③世間の潮流④就職

先に喫煙者は採用しないという動きがあること等を鑑み踏み切りました。「キャンパス内禁煙」に向けて、喫煙している学生を把握するため記名によるアンケートを実施しました。就職、健康のことを考え将来的には禁煙できるような個人指導をアドバイザー教員により行い、禁煙の具体的方法等の指導は健康管理センター、学生サービセンタールームによって指導する支援体制が引かれています。

[学生への禁煙指導の取り組み]

キャンパス内 禁煙宣言

■禁煙に関する学生の作品

まわりに迷惑
たばこの煙
吸ってる本人つゆ知らず

大切に 自分の中から
守ってあげて 周りのみんなの命

愛する人との子供を出産する日が訪れたとき、
吸った分だけ不安になりませんか？
あなただけの体ではないのです。
永遠に受け継がれていくあなたの体、大切にしてください。

大事だから失いたくないんです。

私のお父さんはたばこを吸います
お父さんは大好きです
でもたばこは嫌いです
一緒に好きにはなれません

「健康増進法」が施行され、公共施設に置ける受動喫煙防止が努力義務として明文化されました。

学生部長
高橋 俊子

条約」を全会一致で採択しました。本学においても、二〇〇三年十一月一日からキャンパス内禁煙を実施しました。

禁煙の理由として①医療関係者として健康に携わる者が率先してモデルになること。医療関係

禁煙への取り組み

学生部長
高橋 俊子

「健康増進法」が施行され、公共施設に置ける受動喫煙防止が努力義務として明文化されました。

禁煙の理由として①医療関係者として健康に携わる者が率先してモデルになること。医療関係

学生への対応

学生サービセンタールーム
川俣 真理子

昨年五月に「健康増進法」が施行され、受動喫煙による健康被害の防止が明確になりました。また今年六月には「たばこの需要の減少に関する措置」、「たばこの供給の減少に関する措置」の実施を求める「たばこ規制枠組み条約」について日本は十九番目の批准国となりました。もはや「タバコは個人の嗜好の問題」では片付けられないところになっていきます。

一、喫煙防止教育
本学学生の喫煙割合は約一割ですが、残り九割の非喫煙学生を新たな喫煙者にしてしまいが大変重要です。健康管理センターでは、全学生を対象に年一回、専門医による

愛情と科学の目を 兼ね備えた人材に。

発達障害児のアセスメントと支援。



社会福祉学部 教授
石井正春

■最終学歴/東北大学大学院 博士課程
■所属学会/日本特殊教育学会、日本教育心理学会
■研究業績/＜著書＞「発達障害児のアセスメントと治療教育」日本図書センター、「情緒障害児のアセスメントと臨床・教育心理学的研究」日本図書センター

生と死にかかわる中での こころの動きに心を

心理学にはいろんな領域がありますが、中でも私が最も関心をもったのは「障害者(児)の心理」です。きっかけは高校三年、十八歳の一月、受験勉強さなかの入院経験でした。病院でいろんな患者さんと接していると、重い病気の人の方が明るく朗らかで、軽い人の方が自分は重い病気だと思ひ込んでふさいでいることがあったりと、さまざまな人間模様があり、そうした人間の生と死にかかわる中でのこころの動きに、素朴な関心をもったことが始まりでした。

そこから、大学や大学院で心理学を勉強し、教育心理学、臨床心理学、障害者(児)の心理と学びを深めていきました。そして昨年三月、今まで何十年と研究を続けてきたものまとめとして、「発達障害児のアセスメントと治療教育」を、さらに今年三月には、「情緒障害児のアセスメントと臨床・教育心理学的研究」と二冊の本を上梓しました。(二冊とも本学の図書館にあります)

“隣人愛”を基本に、 “科学的な目”をもって

「発達障害」とは、先天的、後天的の早期幼児期に何らかの中核性障害をベースとして生ずる障害

のことで、自閉性障害、知的障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、未発達(重度)、重複障害などが含まれます。

また、「情緒障害」は、何らかの心理的あつれきやつれ、ストレスなど、特に対人関係が原因となつて情緒的に混乱や神経症(ノイロゼ)などを引き起こす障害ですが、まず大切なのは、そうした障害のある人をよく知ることです。

障害の重い人、軽い人と一人ひとり皆違いますから、その違いをよく理解することが必要です。その時のベースとなるのが、本学の建学の精神である「隣人愛」です。その上に、「科学的な目」をもって一人ひとりの状態像をより正確な情報として把握することが重要になってきます。これがアセスメントです。それから治療教育、あるいはサポート(支援)という分野に進んでいくわけです。

愛情と科学。私は学生たちに、その両方を兼ね備えて社会に巣立ってほしいと常に望んでいます。

障害者の心理は 自分のこととして 考える姿勢が必要

社会福祉に携わることは、自身を成長させる大きなきっかけになります。人間としての生き方を学びながら、なおかつ支援がで

きるということ、とても幸せな仕事ではないかと思ひます。

最近福祉教育やボランティアが盛んになっているので、自らの意志でそこに参加してみたいものではないでしょうか。これから福祉を勉強しようという学生たちには、やはりボランティア精神をもつて入学してきてほしいと思ひます。

私が担当する「障害者の心理」という科目は、障害を他人事として見るのではなく、自分のこととして考えるのがポイントです。障害の発生はだれにでも起こりうる可能性があり、特に加齢はだれにも避けられない宿命です。その上に立つて、障害者の心理を学んでほしいと思ひます。

また、「社会福祉演習」では発達心理学を背景にして知能検査の理論を学ぶとともに、実際に検査用具「WISC」を使ったアセスメントも行っています。学生が将来、障害のある人と接する場合の一つのこころの準備として活用できればと考えています。



著書「発達障害児のアセスメントと治療教育」
「発達障害児のアセスメントと臨床・教育心理学的研究」と長谷川保著「夜もひるのように輝く」

「看護の日」記念行事

◆五月十二日開催



ナイチンゲール記章

今年度の「看護の日記念行事」は、看護短期大学部一・二・三年生、看護学部一・二年生を対象として五月十一日(火)に開催されました。参加者は、本学学生の他、聖隷クリストファー高校看護・福祉進学コース三年生三十二名、一般参加者三名を含めて三百六十二名でした。

園浜松衛生短期大学学長をお招きし、「看護のこころ」についてお話をいただきました。先生は、看護の原点となる要素を、「奉仕する心(無償の愛)」、「共感の態度」、「問題意識、四インフォームド・コンセント、五人間への尊敬の五つにまとめてお話されました。

更に、永井先生が強調されたことは、「専門職としての看護」についてでした。先生は、看護は誰にでもできる、しかし専門職としての看護を実践できるのは我々看護師であり、専門職者としてのプライドを持たなければいけない。専門職としての看護師に必要な要素は、「使命感を持つ」、「理論的アプローチをする」、「社会から認められること、四・豊かな人間性教

養を含む)であると具体例を挙げて説明されました。

講演後の学生レポートには「今私がこの学校で学んでいることは看護の技術や知識は勿論だが、「看護の心」を学んでいるのだと実感できた」、「永井先生のお話を聞いて、自分が理想とする「看護」の枠組みをより明確にすることができた」等、講義や実習体験を振り返り、更なる学習動機への良い機会となりました。尚、講演会場では、「ナイチンゲール記章」が展示され、学生をはじめ多くの方々の関心を集めました。御協力ありがとうございました。

●看護の日・福祉の日記念行事委員
片桐雅子 助教授

新任教員の紹介

(10月1日就任)



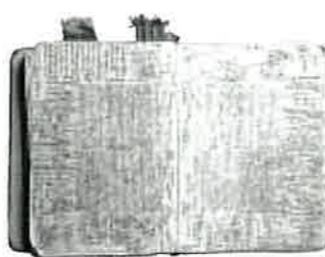
看護学部 教授
渡邊順子

●出身校/大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程修了(保健学(博士))
●前任校(施設)/名古屋大学医学部保健学科看護学専攻基礎看護学講座
ナースは不思議な現象を経験します。憶えず、諦めず、甘えない「凜」とした姿勢が看護を進化させると信じています。

シリーズ/聖書のことは[長谷川保と聖書]

わたしたちに必要な糧を
今日与えてください。

マタイによる福音書6章11節



これは「主の祈り」の第四項である。平たく言い直せば、「今日もわたしたちにご飯をください」となる。

現代は飽食の時代であるといわれる。たしかに日本の社会を見ているとそう思える。第二次大戦の直後に日本を視察したアメリカの使節団の報告書に「この国に食糧が有り余る時代が来るとは思えない」とある。「今日もわたしたちにご飯をください」という祈りが不要になる日は来ないということであった。彼らの予想は、この文言の限りでは外れたことになる。

長谷川保も「ご飯をください」と祈った。聖書も、日本と同じく、今はもうこの祈りが必要としなくなったのだろうか。厳密に言うと、長谷川保の祈りは、山内喜美子が書いているように「神様、御飯をください」(「長谷川保の生涯」二四六頁)ではない。正しくは「神様、患者たちにご飯をください」(「夜もひるのように輝く」一九二頁)であった。長谷川保は自分のために祈ったのではない。「主の祈り」にも「わたしたち」とある。この点が重要である。「主の祈り」は「わたし」のための個人的な祈りではない。「わたしたち」のための祈りである。問題は「わたしたち」の中に誰を含めるかということである。今日、「ご飯をください」という祈りは不要になったのだろうか。私たちは誰のために祈っているのだろうか。

●聖隷学園宗教主任/佐柳文男

海外でのさまざまな体験から多くのことを学びました。

海外研修・実習特集



セーフコ球場
でシアトルマリ
ナーズ観戦

看護短期大学部 19名 ネブラスカ研修
看護学部 23名 シアトル研修
社会福祉学部 9名 国際福祉実習
(春semester:韓国8名、インド:1名)



ホライズン・ハウス
(高齢者福祉
施設)にて



スペースニードル(展望台)から見たシアトルの景色



お別れ会(ウッドランド・パーク)



カナダ・ビクトリア市(市内観光)

7/29~8/19 シアトル研修

看護学部2年
松井沙依

今回の研修の目的の一つは、国際的な視野で保健・福祉・医療を考えるきっかけとすることです。病院や高齢者施設だけでなく、保健所や地域クリニックなどの施設を見学できたこと、バスや路上で実践的な英語を学べたことはとてもよかったです。ただ今回は高齢者向けのきれいな施設しか見学できなかったことが残念です。

研修を通してアメリカの保健・福祉医療の実際に触れ、良い点や問題点を知ることができました。印象に残っているのは、病院で生まれてきた我が子と離れることなく生活できることです。日本ではなかなか実施されていませんが母親と子供にとって大切なことだと聞きました。日本の医療について考える良い機会になりました。



ワシントン州立大
学でのインタビュー
プロジェクト

7/28~8/17 ネブラスカ研修

看護短期大学部2年
柴田英奈

七月二十八日から三週間、私は看護短期大学部として最後の海外研修に参加しました。アメリカでの暮らしは目に飛び込んでくるものがすべてが新しいものばかりで、とても新鮮な毎日を感じられました。

特に深い思い出になったのは、ホームステイ先の家族の方との交流でした。アメリカで貴重な経験をさせてくださった家族思いで優しいお父さんのグラン、歌うことと踊ることが好きなお母さんのスーザン、クッキーが大好きで子供っぽいお兄さんのルイス、努力家で日本のが大好きなベッキー。お別れの時、ベッキーが日本語で「日本のお姉さん」と言った時にはもう涙が止まりませんでした。



さよならパーティ

ラッシュモア山(4人の大統領の顔が彫られた山)



ゴールドクレストリタイアメントセンター(高齢者施設)



研修オリエンテーション(ネブラスカウエスリアン大学)

7/28~8/24 国際福祉実習

社会福祉学部4年
牧田薫

社会福祉学部が開設されてはじめての国際福祉実習が二〇〇四年の夏に行われました。私は、韓国ソウル市にある東明老人福祉センター(特別養護老人ホーム)で約一カ月の実習をさせていただきました。文化の違いや言葉の問題に悩まされながらも最初の二週間は実習生六名で考え合い高齢者や職員との関わりを積極的に行ってきました。時には「文化の違いだけでは納得できない」という場面があり、実習終了後の宿舎では六名が

深夜まで討論し合う日もありました。そして、二人での実習後半、胃痛に苦しんだ日もありましたが業務の流れを理解し始め、また何よりも文化や言葉の違いを超えて通じ合える人との交流をすることができました。最後まで暖かく見守ってくださった東明老人福祉センターの理事長先生はじめ園長先生、職員、入所者の皆様、通訳のホンさんに感謝しております。本当にありがとうございました。



東明老人福祉センターにて



2004年4月6日に入学式が行われ、今年度は新たにリハビリテーション学部と大学院社会福祉学研究科の学生が加わり学生数も1,100名を超えました。希望に満ち溢れた新生に本学の印象や学部の魅力などについて語っていただきました

- ①所属学部学科(専攻)の魅力 ②聖隷クリストファー大学の印象・魅力③大学生活で楽しいこと ④将来の夢

③学部内の仲がよく、友人達といつも一緒にいるので、親元を離れた寂しさを感じることはなく、いつも楽しい。
④沖縄の離島で島の誰からも愛される理学療法士になりたい。

④人の心の痛みや悲しみを理解し、支えとなるような看護師になりたい。

【リハビリテーション学部】

諸澄佐和 (言語聴覚学専攻)

①言語聴覚学を学べる大学が全国に11校しかないため、全国から学生が集まっているので、同じ話をするにも様々な言い方があったりと“ことば”について学ぶことができる。皆、相手を思いやる心に長けているところ。
②病院が隣接していることもあり、学生が皆、将来に対する意欲に満ち溢れている。先生方は教育に対する熱意に溢れている。
③ひとつの目標に向かって共に頑張ることのできる毎日。
④患者の心の痛みを敏感に感じることのできる言語聴覚士になりたい。山間や離島などの僻地でも言語聴覚士として普及に努めたい。

竹内香里 (作業療法学専攻)

①とてもいい先生が多く、何でも気軽に相談できる。授業ではただ教科書を読んだり、講義を聴くだけでなく、実際に自分で様々なことを身をもって体験できる。
②建物がきれいで職員の方達もすごく優しい。
③サークル活動時や休み時間などに同じ専攻内はもちろん他専攻の学生とも楽しく話しをする。
④いろいろな人が気軽に来られるような地域に密着した現場で作業療法士として働きたい。

大久保有基 (理学療法学専攻)

①3つの専攻があるため、自分の専攻だけでなく他専攻の意見を聞くことができる。先生方は様々な分野の第一人者なので、他では聞くことができないような貴重な話を聞くことができる。
②全国から自分の目標をしっかりと持った学生が集まっている。授業は少人数制のものが多く、ひとりひとりの意見が大事にされている気がする。大学全体では男子が少ないが存在感がある。

【看護学部】

佐藤亜紗美

①先生方は厳しい面もありますが、面白くてユーモアのある授業をしてくださるところ。設備が整っているので実技の練習がしやすいところ。
②専門科目だけでなく共通科目も多くあるので考え方の幅を広げることができる。
③自分の興味のあることを学べる。一人暮らし。
④自分の周りに癌を患う人が多かったこと、地元で大きな癌センターができたことから将来はそこで働きたいという気持ちがありますが、4年間でじっくり考えたい。

三反崎あゆみ

①病気だけでなくその人のすべてを見る職である看護を学べる。
②熱心で温かい教員が多く、勉強面はもちろんのこと私生活の相談にも快く対応して下さる。聖隷歴史資料館を通して聖隷の土台となっている神のことば(聖書)を忠実に守っていることが伝わりとても励みになる。
③クリスチャンの仲間と聖書を読み分かち合ったり、讃美歌を讃美すること。寮生活。解剖学や生理学の授業。
④アフリカや東南アジアの国々での医療支援に強く関心を持っているので、語学力を身につけて看護師・保健師・助産師の資格を取得して海外で働きたい。JOCS、青年海外協力隊に参加したい。

松井優実

①4年制なので看護師だけでなく保健師の受験資格や選択すれば助産師の受験資格も得られるところ。先生方が放課後の実技の練習も見に来てくれるなど真剣に教えてくださるところ。
②学費は高いけれど設備が充実している。(パソコン室が自由に使えて便利)看護の勉強だけでなく情報処理や語学、スポーツなどの勉強もできる。周辺に様々な施設や病院があり、ボランティアをする機会が得られやすい。
③勉強や実技の練習で忙しいが、空いた時間に友人といろいろなことについて話しをするのが楽しい。

クラブ・サークル紹介



今年の四月からは、近くの教会の牧師にハンドベル演奏のポイントを教えていただき、週に一回

ハンドベル部

部長 ●看護2年 磯沼愛

ハンドベルという楽器をご存知ですか?クリスマス頃、聞いたことがあるという方もいらっしゃるかもしれません。

ハンドベルは、ひとつのベルからひとつの音しか出すことができないので、二つの曲を演奏するには何本ものベルが必要になりますし、演奏者が何人もいなければなりません。演奏者同士の息が合っなくてはじめて二つの曲が出来上がるのです。皆で力を合わせて二つの曲が演奏できた時には、何とも言えない達成感と喜びが込み上げてきます。

今、私たちハンドベルサークルは、いろいろな学部・学年の学生十三名が集まり、活動しています。顧問の先生のほかに、二名の先生が加わり、演奏者は全体で十五名です。

毎年、大学祭・大学礼拝・老人ホーム・謝恩会などで演奏しています。

という少ない練習時間ですが、少しずつ上達しています。

現在は、十月に予定されているホスピスの演奏に向け、特訓中です。これからも、良い演奏ができるように練習に励んでいきたいと思っています。十一月には大学祭での演奏がありますので、是非、気軽に足をお運びください。お待ちしております。

フットサル部

部長 ●社福2年 安部尚哉

フットサル部は毎週水・金曜日の十八時三十分〜二十時まで活動しています。水曜日はリハビリテーション学部、金曜日は看護学部・社会福祉学部・看護短期大学の学生が活動しています。活動の内容はフットサルの試合を楽しく行っています。フットサルとは、サッカーと同じようなスポーツですが、コートが小さく五対五で行うスポーツで、適度な運動もすることができ

今年度の試合をすべく、仲間を募集しています。フットサルは、仲間を大切にし、協力し、自己責任を持って活動することです。現在では

【社会福祉学部】

杉山公彦 (社会福祉専攻)

①様々な視点から幅広い福祉の勉強ができる。福祉とキリスト教が密接な関係にあることを学ぶことができる。
②きれい。周囲に多くの施設があり、福祉を学ぶ環境が大変整っている。
③友人との会話。
④まだ具体的に決めていないので、これからじっくり考えたい。

小野菜保子 (介護福祉専攻)

①福祉を学ぶ授業(特に介護技術の授業)では講義と実践をふまえた演習があるので、身をもって学ぶことができる。
②学部の先輩方との交流会があり、同級生だけでなく、先輩とのつながりも持つことができたり、キャンパス内を周辺施設の方が散歩しているので利用者の方ともお話しする機会があるなど様々な人と接する機会を持つことができる。
③サークル活動
④学んだ介護技術を活かして施設の介護職員になりたい。老人、障害者(児)、デイサービスなどの分野に進むかは4年間の実習を通して自分に合う道を見つけた。

西村和也 (編入学生、社会福祉専攻)

①福祉の領域を広く深く学ぶことができる。
②近代的で明るい。
③様々な方々と授業や活動などで交流できること。
④子供も好きだが将来的な需要を考え高齢者関係の仕事に就きたい。

ます。楽しくフットサルの試合をする。ことにより汗をかくこと、仲間との交流などを目的に活動しています。未経験者も多く笑顔を交えながら楽しく行っています。また卒業された先輩方も時々来てくれて、仕事についての話などをしてくれます。さらに、新入生歓迎会・忘年会・新年会・送別会などを行っています。

ボランティアサークル TOLLO

部長 ●社福3年 堀江美里

私達は浜松市の豊岡団地に住んでいるベトナム人児童を中心に団地内の集会所にて毎週二回、学習支援を行っています。TOLLOという名前は、「Think」「Our」「Life」「Organization」という単語の組み合わせからできていて、「私達が生活している地域や地域の人々のくらしを考えていこう」という意味が込められています。

浜松市内の大学生の組織であるCSNの活動の部として、二〇〇三年の冬から勉強会を行い、浜松市内の外国人の状況を知り、豊岡団地での学習支援の教室を立ち上げてきました。初めは社会福祉学部五人とCSNのメンバーの協力、自治会や団地の会合への挨拶、団地内のベトナム人の把握、ベトナム人児童と保護者への説明会等を行ってきました。現在では

本学の社会福祉学部十名、看護学部一名、リハビリテーション学部二名で学習支援の活動をしています。ベトナム人児童も初めは四〜五名でしたが、現在はその倍以上の人数になってきています。

茶道部

部長 ●看護3年 植松志保

私達聖隷クリストファー大学茶道部には、初心者から経験者まで幅広い部員が所属し、外部から講師の先生を招き裏千家の始祖者千利休の教えである「二期一会(生に一度の出会いを大切にすること)」の精神のもと、毎週二回の稽古を行っています。

茶道部の年間行事としては、老人ホームへの訪問茶会や学園祭での茶会、中国からの訪問団への交流茶会、茶室の見学、陶芸や様々なことを行っています。特に、訪問茶会では毎年多くの入所者の方々に喜んで頂いています。また、今年度は浜名湖花博でも席を設けて頂け、日本の方だけでなく外国の方々にも茶道の素晴らしさを知って頂くことが出来ました。

私達は日々の稽古や様々な行事を通し、礼儀や作法だけでなく、他学部の部員との交流や海外の方々とコミュニケーション、人に喜んで貰うという感動等多くのことを学んでいます。

【クラブ同好会一覧】(2004年9月現在)

●ボランティア系

ALSサークル
ひまわりの会
しゅわっち(手話)
マスカット
Green house
TOLO
ホスピス学生ボランティア
献血推進ボランティア
マナの会

●スポーツ系

バレーボール部
プレイヤーズ
バスケットボール
フットサル
バ☆ド
パンパ
エブリバディ・ダンシング
TFC

●音楽系

ハンドベル
コーロ・カリタ
室内管弦楽サークル
琴クラブ
軽音楽部
吹奏楽部

●文化系

オリープ
茶道部
美術部
郷土料理研究会
あじあ友のわ
手芸部

就職センター 就職状況と 就職支援の取り組み

就職センター長
河内正広

本学は四学部ありますが、二〇〇四年度の卒業予定者は、看護学部二六名、看護短期大学部一〇八名、専攻科助産学特別専攻十七名、社会福祉学部九名、大学院八名の合計二五八名で、このうち、就職希望者は二五〇名です。看護学部・看護短期大学部の大半は、看護師・保健師・助産師の資格を得て、病院や保健所に勤務します。

昨今の看護職不足により、過去十年間では、看護職の就職はほぼ一〇〇％に達しています。看護職の特徴として、実習先に就職する確率が高いため、本学でも実習先であり、関連病院でもある聖隷浜松病院・聖隷三方原病院には、毎年、六〇～七〇％の学生が就職しています。

社会福祉学部では、本年度初めて三年次編入の九名が来年度に社会に巣立ちます。このため、就職センターでは、九名全員の就職実現を目指した支援を行なうと同時に、来年度の卒業生二期生九十六名のために、就職先の開拓に全力をあげています。

就職センターの就職支援プログラムとしては、三年次の後半から「a」就職・進学ガイダンス、「b」就職先病院の情報提供(求人票、「c」GOB紹介、「d」履歴書の添削、「e」模擬面接など、具体的な実践的な就職活動支援を中心に行なっています。このような従来の就職支援策に加え、最近の就職支

援は、卒業後のキャリアデザインを意図した入学時から就職の意識付けが重要になっています。特に、看護職と異なり、社会福祉学部では就職が容易でない状況にあり、この対策として、今年度より就職するための資格取得の講座を開講しました。講座は「医療事務」「福祉住環境コーディネーター」「公務員一般教養試験対策」「MOS」「介護保険請求事務」などです。さらに、来年度からは、一年次生からの「キャリアデザイン講座」を開講し、就職のためのコミュニケーション能力、自己理解・自己開示、対象者理解など、ヒューマンサービスの職種としての基本的な能力開発支援を行なっていく予定です。

2003年度聖隷クリストファー大学 卒業生・修了生の進路決定状況 (2004年4月1日現在)

1 看護学部卒業生の内訳		修了生数117名 ※9月卒業3名含む	
就職者数	102名	看護師94名(静岡県内54名/静岡県外40名)	保健師8名(静岡県内6名/静岡県外2名)
進学者数	10名	その他	4名 就職しない
1 -1.看護師(静岡県内)			
聖隷浜松病院	19名	静岡県立こども病院	1名
聖隷三方原病院	26名	静岡市立静岡病院	1名
聖隷沼津病院	1名	市立島田市民病院	1名
静岡県立静岡がんセンター	1名	共立菊川総合病院	2名
静岡県立総合病院	1名	磐田市立総合病院	1名
1 -2.看護師(静岡県外)			
聖隷横浜病院	3名	神奈川県立がんセンター	1名
聖隷佐倉市民病院	4名	藤沢市民病院	1名
東北厚生年金病院	1名	山梨県立中央病院	1名
順天堂大学医学部附属順天堂医院	2名	名古屋第一赤十字病院	1名
杏林大学医学部付属病院	1名	名古屋立大学病院	1名
東邦大学医学部付属大森病院	1名	名古屋大学医学部附属病院	3名
虎の門病院	1名	名古屋徳済会病院	2名
昭和大学病院	1名	豊橋市民病院	1名
日本医科大学付属病院	2名	三重大学医学部附属病院	1名
日本医科大学付属多摩永山病院	1名	土岐市立総合病院	1名
東京臨海病院	1名	滋賀県立小児保健医療センター	1名
東京武蔵野病院	2名	大阪大学医学部附属病院	1名
聖マリアンナ医科大学病院	1名	大阪市総合医療センター	1名
聖マリアンナ医科大学東横病院	1名	甲南病院	1名
昭和大学横浜市北部病院	1名		
1 -3.保健師(静岡県内)			
沼津市	2名	聖隷健康診断センター	1名
静岡市立静岡病院	2名	おおぞら療育センター	1名
1 -4.保健師(静岡県外)			
社会保険山梨病院	2名		
1 -5.進学			
聖隷クリストファー大学看護短期大学部	専攻科助産学特別専攻	7名	
信州大学医療技術短期大学部	専攻科助産学特別専攻	1名	
国立東京医療センター附属東が丘看護助産学校		1名	
天使大学大学院助産研究科		1名	
2 大学院			
修了者数5名(内1名就職しない)			
2 -1.看護師(静岡県内)			
浜松医科大学医学部附属病院	1名		
2 -2.看護師(静岡県外)			
刈谷総合病院	1名		
2 -3.教員			
聖隷クリストファー大学看護短期大学部看護学科	1名		
岐阜大学医学部看護学科	1名		

2003年度聖隷クリストファー大学看護短期大学部 卒業生・修了生の進路状況 (2004年4月1日現在)

1 看護短期大学部卒業生の内訳		修了生数118名 ※9月卒業3名含む	
就職者数	93名	看護師93名(静岡県内76名/静岡県外17名)	
進学者数	6名	就職しない	2名 その他
1 -1.看護師(静岡県内)			
聖隷浜松病院	30名	順天堂大学医学部附属順天堂伊豆長岡医院	1名
聖隷三方原病院	27名	袋井市立袋井市民病院	1名
聖隷沼津病院	4名	共立菊川総合病院	1名
聖隷吉原病院	1名	町立浜岡総合病院	1名
おおぞら療育センター	1名	藤枝市立総合病院	2名
磐田市立総合病院	2名	静岡県立総合病院	1名
共立西総合病院	1名	静岡市立静岡病院	3名
1 -2.看護師(静岡県外)			
聖隷横浜病院	1名	さいたま記念病院	1名
聖隷佐倉市民病院	6名	愛知県厚生農業協同組合連合会 濃美病院	1名
日本医科大学付属病院	1名	愛知県	1名
昭和大学病院	1名	岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃病院	1名
聖マリアンナ医科大学病院	1名	長野市民病院	1名
道東勤医協励路協立病院	1名	山梨厚生連健康管理センター	1名
1 -3.進学			
聖隷クリストファー大学	看護学部看護学科	3名	
聖隷クリストファー大学	看護短期大学部専攻科助産学特別専攻	3名	
2 専攻科助産学特別専攻修了生の内訳			
修了生数16名			
就職者数	15名	助産師14名(静岡県内7名/静岡県外7名)	看護師1名(静岡県内1名/静岡県外0名)
就職しない	1名		
2 -1.助産師(静岡県内)			
聖隷浜松病院	3名	聖隷沼津病院	1名
聖隷三方原病院	2名	富士市立中央病院	1名
2 -2.助産師(静岡県外)			
豊川市民病院	1名	木戸病院	1名
日本医科大学千葉北総病院	1名	国立長野病院	1名
富士市立中央病院	1名	大川産婦人科医院	1名
久我山病院	1名		
2 -3.看護師(静岡県内)			
静岡県立総合病院	1名		

2004年4月6日(火)に、アクシティ浜松において聖隷クリストファー大学後援会2004年度総会が行われ、2004年度の事業計画及び予算が下記のとおり承認されました。

2004年度聖隷クリストファー大学後援会予算			
[収入の部]			
会費・入会金	入会金収入	3,317,500	
	会費収入	22,000,000	
利息収入	預金利息	1,000	
前年度繰越		3,673,005	
収入の部 合計		28,991,505	
[支出の部]			
教育活動	新入生セミナー補助(看護学部は学内、社会福祉学部・リハビリテーション学部は学外で実施)	3,270,000	
振興援助費	海外研修補助費(ワシントン州シアトル・看護学部)、(ネブラスカ州リンカーン・看護短期大学部)	900,000	
	海外研修補助費(中国重慶・全学部対象)	300,000	
	中国との交流補助費(中国 第三軍医学大との友好協定締結に関わる学生代表渡航費用の補助)	400,000	
	看護学部 地域看護実習交通費補助	1,000,000	
	看護短期大学部専攻科 学外学会参加交通費の補助	280,500	
	資格取得講座等補助費(就職支援のための課外講座補助)	700,000	
福利厚生費	学生相談室カウンセラー委託費用	2,340,000	
	学生健康診断費用の補助	3,070,000	
	学生の自主活動への補助(学友会活動、クラブ活動、大学祭開催等)	2,400,000	
	学友会活動への援助(学生リーダー養成)	100,000	
	クラブ指導者への謝礼(琴、手話、管弦楽、茶道、テニス等)	300,000	
	学生食堂光熱水費、衛生管理費等への補助	3,600,000	
	交通安全・防犯講習会等費用の補助	150,000	
	卒業記念品代	900,000	
	合同卒業パーティー補助	1,500,000	
	家主懇談会費用(年2回開催)	11,500	
	学生印刷室消耗品、印刷機レンタル料の補助	800,000	
	健康管理センター・学生相談室の薬品等購入費	450,000	
会員情報提供費	大学報印刷費用、郵送料	1,200,000	
	保護者懇談会の開催	550,000	
施設設備費	学生福利厚生設備品の充実費用	1,000,000	
	駐車場防犯カメラシステムリース料	189,624	
	大学周辺の防犯灯維持費	70,000	
総務費	慶弔費	50,000	
	会費納付書等印刷費、郵送料	60,000	
	役員会 年3～4回(5,9,12,3月)	200,000	
予備費		3,199,881	
支出の部 合計		28,991,505	

Q1 本誌の全体の印象について○印をつけてお聞かせください。(具体的なお意見もお書きください)

- 1 読みやすい
- 2 普通
- 3 読みにくい

Q2 本誌で興味を持たれた記事に○印をおつけください。(いくつでも)

- 1 キャンパス内禁煙宣言
- 2 連載 私の教育・研究
- 3 「看護の日」記念行事
- 4 新任教員の紹介
- 5 シリーズ 聖書のことば
- 6 海外研修・実習特集
- 7 新入生の声
- 8 クラブ・サークル紹介
- 9 就職状況と就職支援の取り組み
- 10 2004年度後援会予算
- 11 キャンパスライフ
- 12 学友会から

Q3 本誌へのご意見、ご要望、その他大学に関するご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

読者アンケートのお願い

本誌は1993年2月1日に第1号を発行し、本学の現状、教育、将来構想、行事、教員の研究活動、学友会・クラブ活動等についてお伝えしてまいりました。より一層親しみやすい誌面づくりを目指し、今号よりデザインをリニューアルいたしました。また、今号からアンケートも実施いたします。皆様の率直な声をお聞かせいただければ幸いです。お便りをお待ちしております。



マナー講習会



学内病院説明会

